

3年間の思いを胸に

規模縮小し卒業式敢行

新宮市・那智勝浦町

新宮市と那智勝浦町の公立中学校で6日、卒業式があった。新型コロナウイルス

ウィルス感染症拡大予防の観点から、各校ではマスク着用の上、規模を縮

小して実施。生徒たちは校長から卒業証書を受け取り、思い出の詰まった



■新宮市

(西久保勢津子、前地 翔)

母校を巣立った。那智勝浦町立色川中学校、北山村立北山中学校では今年度の卒業生はなし。太地中学校は4日に卒業式を行った。

新宮市内では、緑丘66人、城南54人、光洋71人、高田2人、熊野川13人の計206人が卒業した。城南中学校では、保護者と職員が見守る中、中田善夫校長が生徒一人一人に卒業証書を手渡し、「当校で仲間と一緒に汗と涙と笑顔で学んだことを土台にし、これからの人生をたくましく生き抜いてくれると強く信じて

います」と式辞を述べた。保護者の同意を得て、在校生代表として参列した飯谷心さん(2年)が「先輩方が残してくれた思いを受け継いで、城南中学校をさらに良い学校にしていくことを誓います」。

卒業生代表の玉置七彩さんが「私たちの学校生活の最後の1週間は突然なくなってしまう」と臨時休校措置に言及。「例年とは違い、在校生がいらないのは残念ですがこのような状況の中でも卒業式を迎えることができたことをとてもうれしく思います」と語った。

保護者や教職員らに感謝を述べ、同窓の友に対し「時にはけんかをし、感動で涙し、共に笑い合った日々を忘れることはありません」と3年間の学校生活に思いをはせた。

一人一人に卒業証書が手渡された

〓6日、新宮市立城南中学校

それぞれの思いを胸に卒業式を迎えた

〓6日、那智勝浦町立宇久井中学校